



Paradance Platform Residency Program Public Sharing 「Kalang Kan?」(2026年) Photo by RGB Production

## セゾン・アーティスト・イン・レジデンス ヴィジティング・フェローによるトーク ダンスのエコシステムにおける「サポート」への考察

2026年2月25日(水) 19:00-20:30 / 森下スタジオ(江東区森下3-5-6) / 参加費無料

インドネシアのジョグジャカルタを拠点とするダンス・ドラマトウルク、プログラマー、ライターで、これまで「Paradance Platform」の運営や、インドネシア・ダンス・フェスティバルのキュレーションなどを手掛けてきたニア・アグスティナ氏によるトーク。

「この一年間、私は『サポート(支援)』とは何か、その本質について考え続けてきました。

私がインドネシアで運営しているプラットフォームは、アーティストを支援する資金が非常に限られています。そのため私たちは、資金以外のリソースによる支援を模索しながら、自分たちの文脈において『サポート』がどのように理解され、実践されているのかを問い合わせ続けてきました。

全世界で経済的・地政学的な不確実性が増す現代において、サポートという問い合わせかつてないほど切実なものとなっています。資本主義は人間同士のつながりを『取引』に変えてしまいがちですが、近年のインドネシアで見られる『#salingjaga(互いに見守り合う)』や『#wargajagawarga(市民が市民を守る)』といった草の根の動きは、コミュニティとしてのつながりが不安定な時代の安全装置になる得ることを改めて突きつけています。

こうした社会的実践を、いかにダンスの領域に翻訳できるのでしょうか。現場で担うさまざまな役割を超えて、同じ『人間』であるという地平に立ったとき、私たちは芸術のエコシステムの中で互いに何を差し出せるのでしょうか。

(ニア・アグスティナ)

■申込方法:以下のGoogle フォームからお申し込みください。(定員 15名)

Google Form: <https://forms.gle/s8tEpi34352xHRUZ6>

後日、アーカイブ映像を限定公開で配信いたしますので、ご希望の方は上記のフォームからお申し込みください。

■滞在内容やプロフィール:以下のリンクをご参照ください。

[https://www.saison.or.jp/vf2025\\_niaagustina](https://www.saison.or.jp/vf2025_niaagustina)

主催: 公益財団法人セゾン文化財団

※「助成事業に係る広報活動やネットワーク構築」の一環として本報告会を実施します。



参加申込

## 登壇者プロフィール／Profile



ニア・アグスティナ／Nia Agustina (インドネシア)

ダンス・ドラマトウルク、プログラマー、ライター

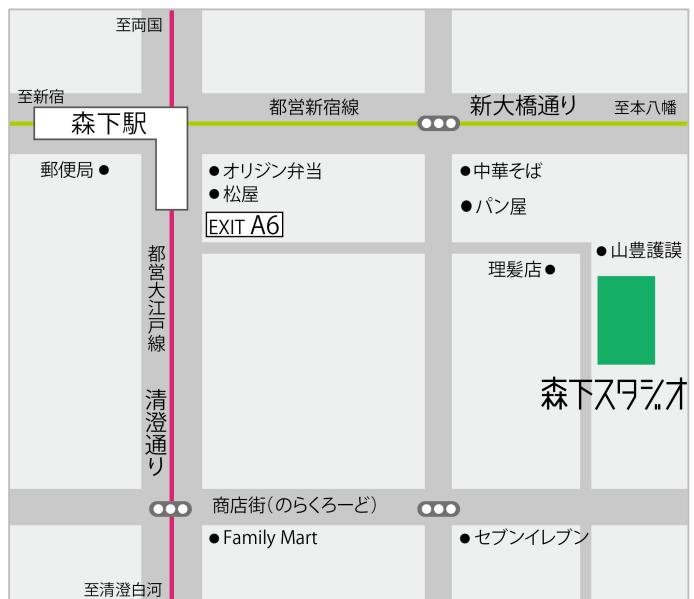
インドネシア・ジョグジャカルタ在住。2014年に「Paradance Platform」を設立し、若手アーティストの育成に尽力。2016年から2024年までインドネシア・ダンス・フェスティバル(IDF)の共同キュレーターを務めるほか、2017年には舞台芸術批評プラットフォーム「[gelaran.id](#)」を共同設立した。国際的には、シンガポールのCentre42による「東南アジア・クリティカル・エコロジーズ・レジデンス」(2021年)や、IETM グローバル・コネクター・プログラム(2021-2022年)に参加。2024年にはスイスのチューリヒ・シアター・スペクタケルにてZKB賞の審査員を務めるなど、アジアと欧州を繋ぐ活動を展開している。ジョグジャカルタ州立大学にて数学教育の修士号を取得(2015年)。2015年より継続的にジェンダー平等とインクルーシビティ(包摂性)に関する言説に携わってきた経験が、舞台芸術における彼女の実践に大きな影響を与えている。



### ■森下スタジオへのアクセス

地下鉄都営新宿線 都営大江戸線「森下駅」A6出口徒歩5分

東京メトロ半蔵門線 都営大江戸線「清澄白河駅」A2出口徒歩10分



上 Paradance Mini Festival of Movement and Dance  
『Menari Jo Enek』 Photo by Bibid Hrida

下 Paradance Platform Workshop Program (2025年)

### ■セゾン・アーティスト・イン・レジデンス

セゾン文化財団では1994年から東京・江東区の森下スタジオを拠点に滞在型の芸術創造支援や日本の芸術文化の研究支援プログラムを支援しています。2011年から2015年に「レジデンス・イン・森下スタジオ」を実施。その成果を踏まえ、2016年から海外の芸術家や芸術団体等との双方向の国際文化交流の活性化を目的とする「セゾン・アーティスト・イン・レジデンス」を実施しています。